

石井修 報告書 3月21日(水) - 3月29日(金) (新選) 776以下 (No. 11)

会派 郡 糸 田 忠 司

3月25日の午後、元交野市職員から市況気流呈となり、

研究者を経て、政存ニレサル外にも、地方議員の講師として
ご活躍の「黒根 碩大」さんの研修に参加した。

先ず「質問質疑の基礎講座」では、「説きの質問は何のためをするのか、」

「職員から、理解、緊急である、その質問と、良い質問の違い」

「役所を動かす質問の資金のフローリーク」

「無意味な質問質疑は、親気にも役所にも迷惑」

この4つの大きなテーマを基軸に、1つ1つ細かく具体的な
分りやすい内容であった。

中でも「相手のイエスから」で答えてこそ「クワイ-2」のイエスを得る
「ユイト」リセム=心構え」の大切さを、説きとして

耳の痛い話もありながらも、一番大切なのは、

「行政を動かすこと」=市民の力人を届けることが出来る。

この島のセオリーと、口説きを学ぶ。自治体職員と議員の
両方の立場を解説した。黒根さんなりの話し

大変勉強になった。

27日のテーマは「雙閣の紐かまじり」

こゝも4つの大玉な議題として

「和かして玉石雙閣の実例と解説」

「雙閣を叫ぶ元々果実を没定す子」

「良い雙閣の必須項目」

「職員の立場と議員の立場」

を軸に、様々な自治体の事例や
議員の経験、エピソードなど、講師の実体験を基にして
説明がなされ、こゝから私も役、こゝからフルで満載で
今後の雙閣、雙閣を生かしていきましょう。

37日「本会議や委員会での雙閣の立ち上げ方法」

黒瀬講師了本日最後の講義では、先の2つの講義の内容を踏襲し、
より、実践的、具体的内容が、在、

中でも特に心に残るのは、雙閣の扱いは厳禁、雙閣した
後こゝが大事、雙閣した後こゝが勝負という項目は、本声でいふと
私も若干、雙閣の扱いはないという部分もあり、「おまじり、融かぬ」
と、改めて再認識していただく。

又、雙閣以外の政策実現方法や、予算決算での雙閣不仕人等、
しこゝもこゝでは果実を述べないが、しっかり整理し、今後の議案活動で
市民に還元していきましょう。

大変、素晴らしいお話をありがとうございました。

宮本 正一 (講師)

会派 光 細田 憲司

27歳で大阪府川市議会議員に就任。5期20年、議長も歴任し、
医学博士でMBAも取得。日本公共経営研究所の所長でもあり
宮本氏の講演は人気あり、聴衆の100人超、地元議員が参加した。

内容は分かりやすくも専門的。質問の組み立てや、1つの
大玉を「木」として捉えていく設計図的な設定方法も。

「元々が質問」ではなく、お茶屋の発言が市政を動かす強力なツールで
質問の意義、ポイント、狙い等々、細かく、その1つ1つの内容を
1つ1つどう捉え、どうかき、何を言わなければならない。フックの
内容量で、今も尚、復習、整理中である。

質問の経験、狙いの中心「課題追求型政策実現」での、具体例を
提示しなかつた。「理にかなった案」を示すこと。行政が採用
しづらい、実現可能性を高めようなど。大変参考になった。

又、地元自治体の大切さや、このお金のAIを活用して議員活動等の
自分が苦手な分野も発想を委之、修行すること。

「自分の力だけ」 = 「市民の力だけ」という初心を、今一度忘れず。

今後とも自分の未熟さ、悔しさを力に変えて、日々精進、努力しつづける。

本業の勉強も、自主講師の研修も進めたいと思っております。